

宮崎空港

国際線14万人、最多更新

2018年度

国内線利用者 2年連続300万人超

宮崎ブルーゲンピリア
空港の2018年度利
用者が333万303

2人に上り、国際線は
14万人を突破して過去
最多を更新、国内線も
2年連続で300万人
を超えた。28日に県庁
であった宮崎空港振興
協議会（会長・河野知
事）総会で報告された。

県西線が6・8%増の
12万2756人、伊丹

線が4・3%増の60万
2471人など、福岡

万5975人だった。
目標の330万人を

（10月末）から土日・
祝日と繁忙期が増便、
ソウル線も冬期増便す
るなどしたため、空港
利用者は前年度の31
8万117人から15万
2915人（4・8%）
増えた。



宮崎空港振興協議会の2019年度総会（28日、県庁）

を除く全路線で伸び
た。17年12月就航で初
の通年連航となった成
田線は11万9286人
が利用し、羽田と合わ
せた東京線は5・9%
増えた。

達成し、同協議会は本
年度、国内線では路線
のPRや各種キャンペ
ーンで利用者拡大を目
指し、航空会社へは路
線充実を要望。国際線
は観光客頼みだけでな
く、多分野での交流促
進で双方向の利用増を
図り、香港線の再開と
台北線の復便、国際
チャーター便誘致にも
努める。

国際線は2万927
1人（26・4%）増の
14万196人。ソウル
線はアジアナ、イース
ター航空の冬期増便で
9万1339人（58・
0%増）を記録し、冬
季五輪のあった前年を
大幅に上回り過去最多
となった。台北線も増
便で3万2882人と
22・3%増加したが、
香港線は10月末からの
運休で39・1%減の1

知事は「ゴールデン
スポーツイヤーを迎
え、来年は国文祭、芸
文祭もあるので国内外
へ宮崎の魅力を発信
し、空港の利用促進に
もつなげていければ」と
期待を込めた。

このうち、国内線は
12万3644人（4・

県人口 26年後82万人

市町村別人口の推移 (将来推計を含む)

※()内は県人口に占める割合を示す

	2015年	2045年	2045年人口の 対2015年比
全 国	127,094,745	106,421,185	83.7
宮 崎 県	1,104,069	824,806	74.7
宮崎東諸県	428,089 (38.8%)	370,939 (45.0%)	86.6
宮 崎 市	401,138	353,770	88.2
国 富 町	19,606	11,253	57.4
綾 町	7,345	5,916	80.5
南 那 珂	72,869 (6.6%)	40,924 (5.0%)	56.2
日 南 市	54,090	31,696	58.6
申 間 市	18,779	9,229	49.1
北 諸 県	190,433 (17.2%)	148,646 (18.0%)	78.1
都 城 市	165,029	125,496	76.0
三 股 町	25,404	23,150	91.1
西 諸 県	75,059 (6.8%)	45,775 (5.5%)	61.0
小 林 市	46,221	31,308	67.7
えびの市	19,538	9,247	47.3
高 原 町	9,300	5,220	56.1
西都・児湯	101,901 (9.2%)	64,303 (7.8%)	63.1
西 都 市	30,683	17,797	58.0
高 鍋 町	21,025	15,081	71.7
新 富 町	17,373	11,421	65.7
西米良村	1,089	566	52.0
木 城 町	5,231	3,725	71.2
川 南 町	16,109	9,794	60.8
都 農 町	10,391	5,919	57.0
東 白 杵	215,130 (19.5%)	144,235 (17.5%)	67.0
延 岡 市	125,159	82,423	65.9
日 向 市	61,761	45,498	73.7
門 川 町	18,183	12,266	67.5
諸 塚 村	1,739	667	38.4
椎 葉 村	2,808	1,191	42.4
美 郷 町	5,480	2,190	40.0
西 白 杵	20,588 (1.9%)	9,984 (1.2%)	48.5
高千穂町	12,755	6,865	53.8
日之影町	3,946	1,540	39.0
五ヶ瀬町	3,887	1,579	40.6

2015年は10月1日現在の人口(総務省「国勢調査」)
2045年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年3月推計)」

国勢調査の実数と、国立社会保障・人口問題研究所による25年から10年

この推計(18年版)を市町村別に抽出。県全体では35年には100万人

を切り、92万8034人になる見込む。45年時点の減少率が最も大きいのは諸塚村で、15年比61.6%減の667人(1072人減)。次に

延岡市は25年に11万1312人、35年には10万4人、35年に8730人、美郷町は25年に4185人、35年に3125人と

推計。五ヶ瀬町、日之影町は25年には両町とも3千人を切り2900人台に、諸塚村は25年に1288人、35年には千人を切ると推計した。

県内は全国平均26.3%減を上回る勢いで減少する推計だが香賀はさらに減るというデータもあると指摘。県総合政策課は「県外転出は進学や就職で20代前半が突出している。子供の頃から宮崎で暮らす良さを伝え、Uターンを増やすこ

とで少しでも人口減を抑えたい」と述べた。

26年後の2045年に県内人口は15年比74.7%の82万4806人(27万9263人減)となり、西白杵は半数を割るとの推計が示された。県が28日、県議会人口減少・地域活性化対策特別委員会(武田浩一委員長、12人)に報告した。

2045年 県の推計
延岡市 8万2千人、日向市 4万5千人
西白杵 3町激減 2015年の48%

日之影町が61.0%減の1540人(2406人減)となり、西白杵は3町合計で51.5%減としている。

延岡市は25年に11万1312人、35年には10万4人、35年に8730人、美郷町は25年に4185人、35年に3125人と

推計。五ヶ瀬町、日之影町は25年には両町とも3千人を切り2900人台に、諸塚村は25年に1288人、35年には千人を切ると推計した。

お洒落で美しく...
お話ししながら
楽しく~

- カット ●シャンプー
- ヘアカラー ほか

介護資格を持つ女性美容師が